



地域防災の「絆」をさらに強化するために ～地域住民同士で、防災活動を学ぶ～

と き 平成28年10月23日(日) 午前9時～正午

ところ 光が丘春の風小学校(光が丘7-2-1)

練馬区立防災学習センターは、ねりま防災カレッジ「中級(共助)コースフォローアップ講座」を開催し、約200人が参加した。

当日は、地域の区民防災組織である「光が丘春の風小学校・光が丘第二中学校避難拠点運営連絡会」の「防災体験会」を見学し、区民同士で地域防災の大切さを学んだ。

「防災体験会」では、避難所の運営方法やボランティアの受付方法など、実践的な内容を学んだ。その後、自分自身が取り組むべき活動などについて、参加者同士が意見交換等を行った。

参加した鈴木芳樹さん(南大泉6丁目在住)は、「自分の地域の小学校で、防災組織に参加していますが、別の組織の運営方法を見たり、体験することで、非常に参考になりました。今回の経験を踏まえて、ボランティアとして応援に来てくれた方々への対応の重要性を学びました。」と話してくれました。



当日の様子①



当日の様子②

【ねりま防災カレッジ事業について】

ねりま防災カレッジ事業では、「一般の方向け」「区民防災組織に属している方向け」「中高層住宅にお住まいの方向け」など、様々な防災講座を開催している。今回、開催する「中級(共助)フォローアップ講座」は「中級(共助)コース」で災害から地域を守る取り組みについて、知識や技術等を学んだ方を対象に、各地域での実践に繋げていただくきっかけ作りを目的としている。



災害対策用トイレ組立の様子

【参考】避難拠点運営連絡会について

練馬区では、大地震が発生した場合の避難所および防災活動の拠点として、区立の小・中学校(99校)を指定している。各拠点では、①区職員や②学校の職員と③地域住民からなる避難拠点運営連絡会の三者によって避難者の支援活動が行う。

「光が丘春の風小学校・光が丘第二中学校避難拠点運営連絡会」も地域住民の方が主体となり、積極的に防災活動に取り組んでいる先進的な区民防災組織の一つ。

【問い合わせ】 防災学習センター 電話：03-5997-6471